

在宅医療のための多職種研修会キックオフシンポジウム 医療的ケア児の保育の “これまで”と“これから”をつなぐ

2025年11月29日(土)10:00-12:00
勇美記念財団助成金補助事業

医療的ケア児の保育を共に考えあう場づくりとして…

2021年に医療的ケア児支援法は施行されました。全国的に医療的ケア児を受け入れ、保育を営もうとする保育現場等が増え始めている段階です。しかし、環境設定の課題や、園内における保育者と看護師の連携の難しさ、地域の関係者との連携など難しい課題にぶつかることが多い実践現場です。

そこで、今回、そのような保育現場における保育者さんたちを応援するために本シンポジウムを設定しました。日本の北部である青森県、真ん中あたりの東京、南部の沖縄県で出会った医療的ケア児保育の関係者同士が、医療的ケア児保育で行なっていること、困っていることなどを話しあう場を設けることになりました。今後目指すのは、医療的ケア児を保育している保育現場の保育者や園内看護師、園医、園長、調理員、栄養士といった多職種間の連携です。そして、各地域の取り組みを知るための現地視察を含めた交流の場を実現し、お互いの情報・意見交換を行えるプラットホームづくりを目指しています。

ぜひとも、これからの子どもたちの社会づくりを考えるキックオフシンポジウムとしてご参加をお待ちしております。

あきやまこどもクリニック
医師:秋山 千枝子



新宮団地こども園
園長:木村 重介



こちんだこども園
園長:仲間 明



にじいろ保育園管理
兼高田保育園園長:山上 華奈子



※上記の話題提供者に、それぞれの現場で現在取り組まれていることをお話しいただきます。

※本シンポジウムの企画者である仲本美央(白梅学園大学子ども学部教授)、田中真衣(白梅学園大学子ども学部准教授)、中山祐一(北海道教育大学養護教育専攻准教授)がこれまでに取り組んできた研究知見に基づき、それぞれの現場における取り組みの意義とこれからの在り方についてお話しします。

◆申し込み方法

裏面QRコード「受付フォーム」よりお申込みください。シンポジウムのご案内、資料に関する連絡は、Eメールアドレスを使用します。「nakamoto@shiraume.ac.jp」のメールの受信許可をいただくようにお願いいたします。

◆会場:白梅学園大学J26講義室またはウェビナー参加

◆参加料:無料(会場参加は100名)

◆申込受付期間:2025年10月28日(月)10時~11月27日(木)16時まで

◆対象者:保育・教育・福祉職に就いている人、医療的ケア児の保育にご興味・ご関心のある方

お申込みから受講までの流れ

- 右記のQRコードを読み取り、「受付フォーム」にてお申込みください。
- お申込み後Googleフォームより自動返信メールが送信されます。自動返信メールの連絡がない場合は、お申込みが正常に完了していない場合がありますので、再度お申込み頂くかEメールにてお問い合わせください。(mail:nakamoto@shiraume.ac.jp)。
「@shiraume.ac.jp」ドメインからのメールの受信を許可していただきますようお願いいたします。
- 受講に関するご案内及び講義資料などを開講日の1日前にEメールで配信いたします。
講義資料がある場合は、添付のURLまたはデータのダウンロードをお願いいたします。
当日はシンポジウム資料を配布いたしません。また、資料の郵送はいたしませんので、ご了承ください。
- 会場参加のお申込みされた方は、会場(白梅学園大学)で受講してください。(開始時間30分前より入構可能)。
※受講をキャンセルされる場合は、Eメールにてご連絡ください(mail: nakamoto@shiraume.ac.jp)。

受付フォーム



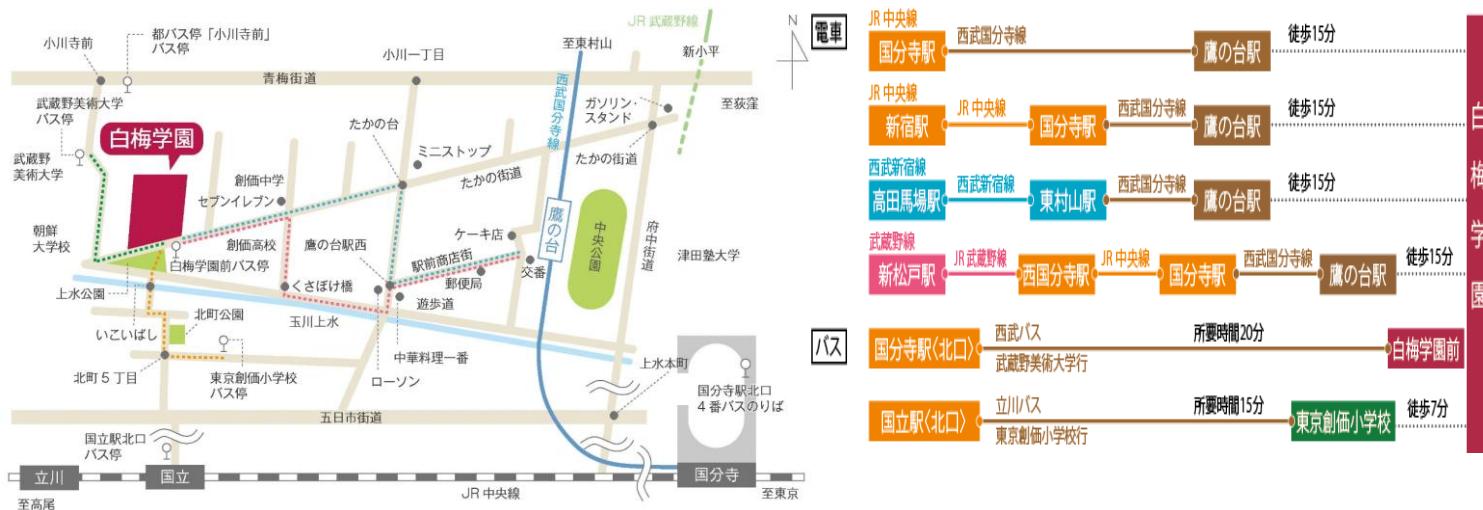
受講キャンセル

- 受講をキャンセルされる場合は、Eメールにてご連絡ください(mail: nakamoto@shiraume.ac.jp)。
- シンポジウム当日の感染症の状況、天災等やむを得ない理由により、開講を中止する場合があります。すでに申し込まれていた方へはその旨ご連絡します。
- 中止に伴う、受講者の方の交通費、その他の費用は負担いたしかねますので予めご了承ください。

トラブルについて

- 事情によりシンポジウム実施が困難な場合や、担当講師、講座内容、日時に変更が生じる場合は、Eメールにて情報をお知らせします。
- 講師や他の受講生の迷惑となるような行為を行ったり、講座の進行を妨げるような言動及び行動を行ったりした場合は、受講をお断りする場合がございます。
- シンポジウム当日はお電話での対応を致しかねます。

アクセスマップ



電車

- JR中央線「国分寺駅」で西武国分寺線（東村山行）に乗り換え「鷺の台駅」下車、徒歩15分。
- 西武新宿線「高田馬場駅」より「東村山駅」で西武国分寺線（国分寺行）に乗り換え「鷺の台駅」下車、徒歩15分。

※学内に受講生用の駐車スペースはございません。公共交通機関をご利用ください。自転車は学内の駐車場をご利用ください。

参考文献

- 本シンポジウムにて話題提供をいただくあきやまこどもクリニック、新宮団地こども園、にじいろ保育園の取り組みについてはその内容の一部が右記の『医療的ケア児の保育』(市川奈緒子・仲本美央・田中真衣編著, 中央法規, 2024)に掲載されています。ぜひともご参照ください。

医療的ケア児の保育

実践から学ぶ共に育ちあう園づくり

市川奈緒子・仲本美央・田中真衣

医療的ケア児の保育は「たいへん」「心配」どんな子どもも受け入れできる園になりませんか?この子たちがいることで子どもにとっても、大人にとっても豊かでやさしい時間が広がる